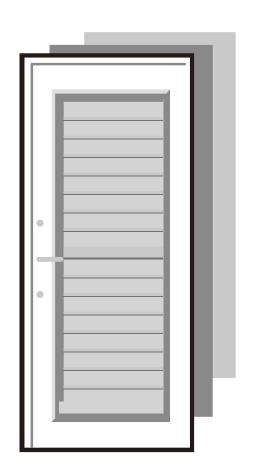


リシェント勝手口ドア断熱仕様

取付け説明書



---- 取付けにあたって ------

- ●ご使用前に、「取付け説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ●この説明書に掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、定期点検を必要とするものがあります。 販売店又は専門施工店にご確認ください。
- ●商品には安全にお使いいただくための本体表示ラベルが張ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。

目 次

■組立て・取付けされる方へのお願い	1 • 2
■「リシェント勝手口ドア断熱仕様」は	3
■取付け工程モデル	4
■納まり参考図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····· 5 ~ 7
■製品の組立て	····· 8 ~ 9
■製品の取付け	10~30
■取付けチェックポイント集·······	30~33

組立て・取付けされる方へのお願い

- ■組立て・取付けされる方へのお願い
- ●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ↑ 注 意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・ 軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。 冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

A注意

- ●本製品は、木造、フロア・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- ●枠の組立ての際は縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ●枠の組立ての際はねじは 2.5 ± 0.5N・m {25 ± 5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ●躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- ●躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時 1.2N·m(12kgf·cm)以上にしてください。製品強度の不足でドア本体、枠の脱落の原因になります。
- ●建付け調整のとき、ピボットヒンジ取付けねじを全部外さないで ください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- ●本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は最大 55Kg になります。)

■組立て上のお願い

- ●必ず指定のねじで組立てしてください。
- ●枠の組立てねじは 2.5 ± 0.5N・m {25 ± 5kgf・cm} の締付けトルクで止めた後、 ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■取付け上のお願い

- ●必ず指定の取付けねじで固定してください。
- ●現場取付けに入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- ●外額縁は現場の納まりに合わせて切詰めてください。

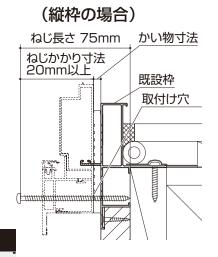
(ねじかかり寸法の確認)

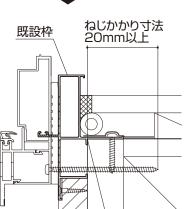
躯体にねじ止めする前に、 既設枠の取付け穴にねじを 入れ、取付け穴からねじ頭 までの長さが 20mm 以上 であることを確認してくだ さい。

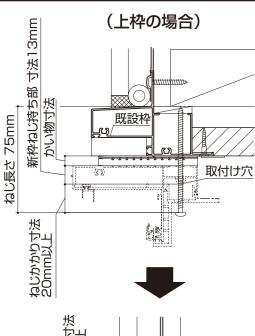
※ねじ長さ 75mm

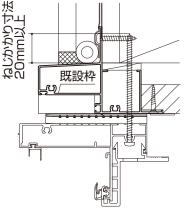
▲注 意

●製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。









(取付ける柱のねじ込みトルクの確認)

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが 1.2N・m(12kgf・cm)以上であることを確認してください。

▲注 意

●躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、取付けねじのねじ込みトルクは、 ねじかかり寸法 20mm の時、1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。

「リシェント勝手ロドア断熱仕様」 は…

●『リシェント勝手口ドア断熱仕様』は、既設のドア枠(※1)の上から新しい枠を取付ける、 改装専用勝手口ドアとして設計されています。

(※1)トステム対象商品名「ロンカラーガラスドア(内付枠・半外付枠)

ロンカラーフラッシュドア(内付枠・半外付枠)

ロンカラー採風ドア・採風ドア・勝手口ドア A型

網戸付勝手口ドア・204 勝手口ドア・パリカラー・ニューカラー

プリンス・クリエラガラスドア(内付枠・半外付枠)

ベルエア 【89/03~93/12】

ベルエアⅡ

ベルエア【00/08~07/09】

セリード【00/05~07/09】

(※2) その他商品

上記以外の商品については、柱へのねじかかり寸法が 20mm 以上の商品 のみを対象とします。

■製品特長

- 1. 枠の取外しおよび付帯工事が不要なため、外壁や内装をキズつけません。
- 2. 部材の加工・組立てが簡単です。
- 3. 外額縁は調整幅が設けてあるため、どんな枠にもきれいに納まります。
- 4. 内外の額縁の調整とシーリングだけで、雨仕舞いなどの仕上げが完了します。
- 5. 品揃えが豊富です。

取付け工程モデル

取付け工程

概 要

●使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認

お施主さまとの打合わせ

●現場を確認し、既設勝手口への取付可否を調査します。



●製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。

取付け前の作業

●専用グレチャン付きガラス・別途有償品を手配します。



製品の組立て

●工事日までに製品を組立てます。



- ●製品基本寸法が現場に合うことを確認します。
- ●工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。



既設ドアの取外し

新しい枠・ドアの取付け







●雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。 ※シーリング個所は納まり図を参照してください。



額縁の取付け

- ●納まりに合わせて、外額縁を切詰めます。
- ●納まりに合う調整溝に、外額縁を取付けます。
- ●溝フタを取付けます。



額縁外周部のシーリング処理

●雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。 ※シーリング個所は納まり図を参照してください。



部品の取付け

●ドアクローザなどを取付けます。



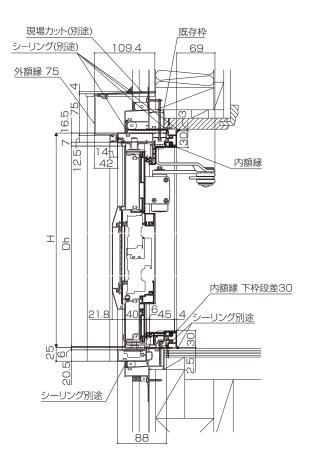
お引渡し

●お施主さまに製品を引渡します。

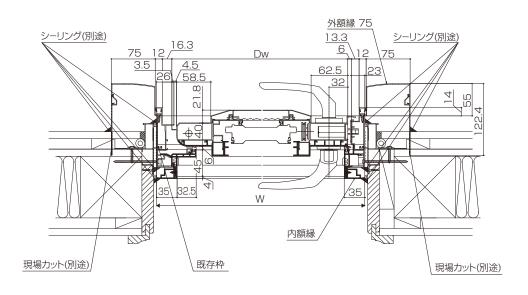
納まり参考図

■アルミ枠納まり(フロア)

●本体部 (縦断面図)

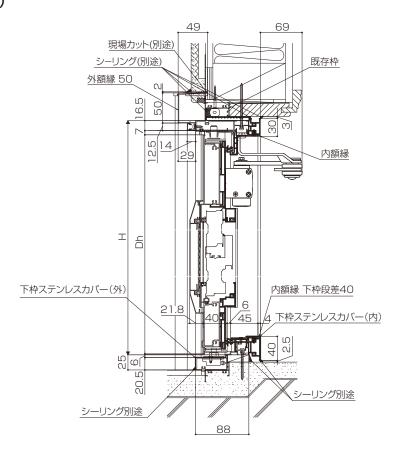


●片開き (横断面図)

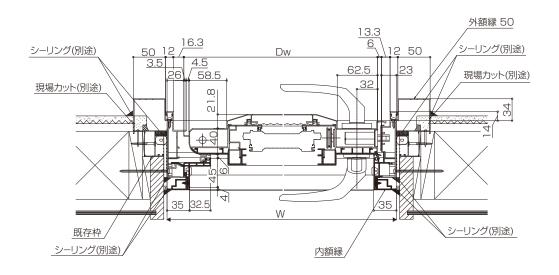


■アルミ枠納まり(土間)

●本体部 (縦断面図)

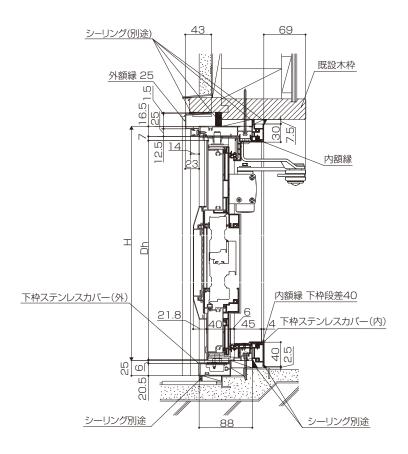


●片開き (横断面図)

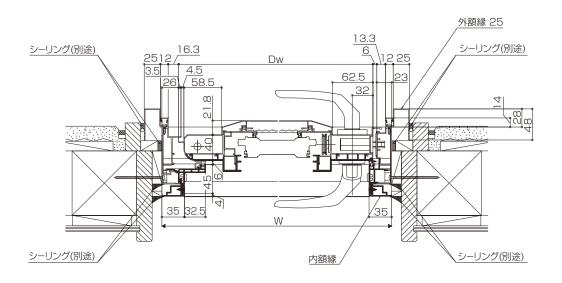


■木枠納まり

●本体部 (縦断面図)



●片開き (横断面図)

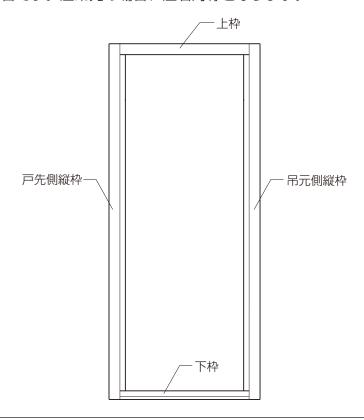


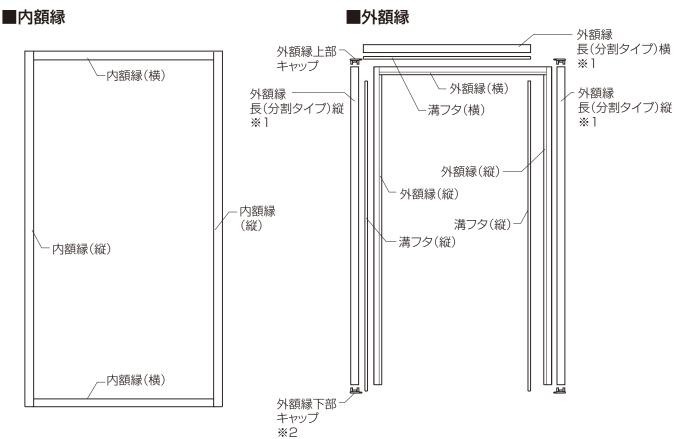
製品の組立て

■部材構成図

※図は外観右吊元の場合です。左吊元の場合、左右対称となります。

■片開き





- ※1 外額縁 25・50 は、一体タイプの場合があります。
- ※2 現場納まりによって外額縁下部キャップは使用しない 場合があります。

■組立てされる方へのお願い

- ●必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ●本体を枠に吊込んだ状態で運搬しないでください。枠が変形し、 ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
- ●下枠シブキ止めシールは性能保持のための重要な部品です。 はがれていないことを確認してください。
- ●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- ●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすっ たりしないでください。
- ●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立てねじ

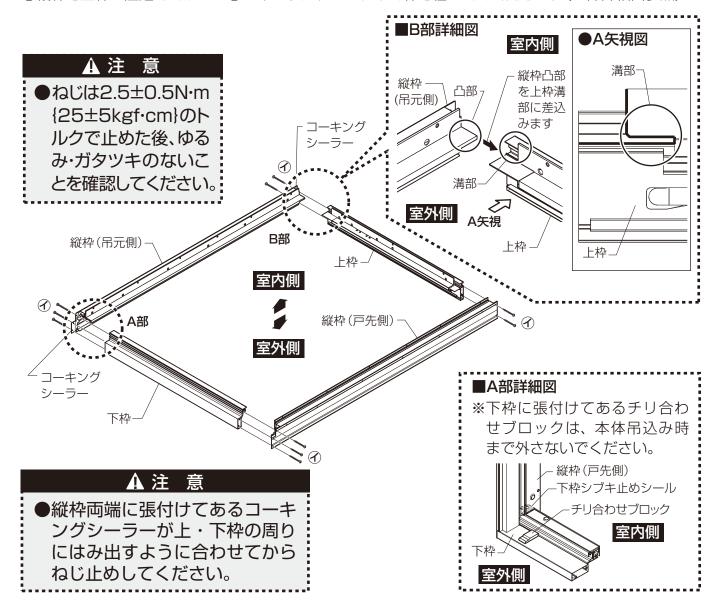
記号	①
姿図	バインドタッピンねじ (2種) φ4×30 (10本)
使用	枠の組立て

■組立て順序

■枠の組立て

- ①下枠両端に張付けてある下枠シブキ止めシールが、ずれたり・めくれたりしていないことを確認してください。
- ②縦枠と下枠のすき間を下枠シブキ止めシールで埋めながら、①バインドタッピンねじで枠を組立ててください。(A 部詳細図参照)
- ③縦枠を上枠に差込んでから、

 のバインドタッピンねじで枠を組立ててください。(B 部詳細図参照)



製品の取付け

↑注 意

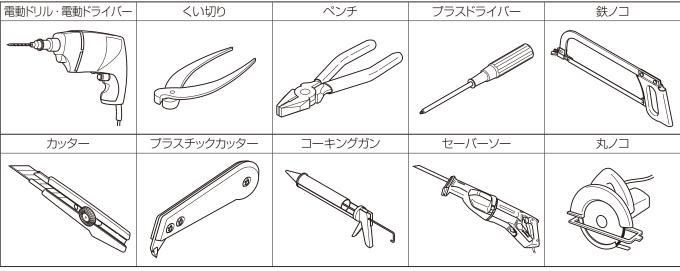
- ●本製品は、木造、フロア・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。
- ◆枠の組立ての際はねじは 2.5 ± 0.5N・m {25 ± 5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ●躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず 20mm 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- ●躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法 20mm の時 1.2N・m(12kgf・cm)以上にしてください。製品強度の不足でドア本体、枠の脱落の原因になります。
- ●建付け調整のとき、ピボットヒンジ取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- ●本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は最大55Kgになります。)
- ●現場取付けに入る前に、製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- ●必ず指定の取付けねじで取付けてください。
- ●外額縁は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

■取付けねじ・部品一覧表

※取付けねじ本数およびプッシュボタンの個数は、取付け穴より多めに入っている場合があります。

a	(b)	©	(d)	е	(f)
枠取付け用	穴ふさぎ用	ドア本体取付け用	ドア本体取付け用	下枠取付け用	下枠取付け用
~~					※コンクリート用
© SESSECTE SESSECTE SESSECTION OF SESSECTION OF SESSECTION OF SESSECTION OF SESSECTION OF SESSECTION OF SESSEC			E Diminio		O Titalianian
なベタッピンねじ φ 4 × 75 (1種)	プッシュボタン	ピボットヒンジ 取付け金具	トラス小ねじ M4×8	ボンデッドワッシャー付 バインドドリルねじ	なべセルフタッピン アンカーねじ φ4×50

■使用工具一覧表



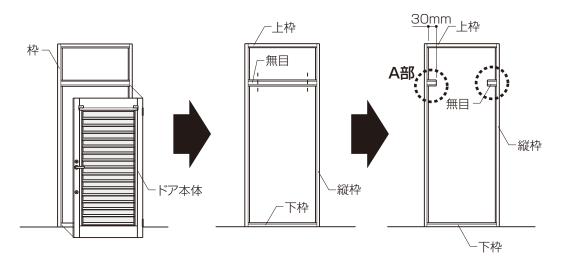
※その他工具

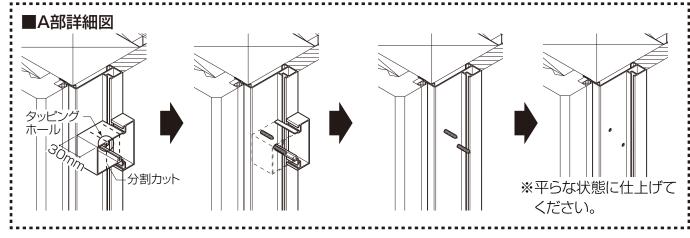
■既設ドアの取外し

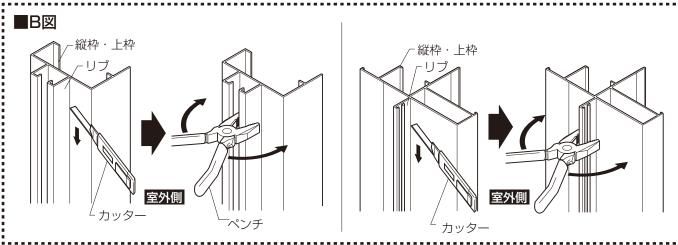
- ①既設のドア本体およびランマがある場合、ランマガラスを取外します。
- ②無目を切断して取除き、外枠(上枠・縦枠・下枠)のみ躯体に残します。

〔既設枠がアルミ形材の場合〕

- ①無目は、縦枠連結部から約30 mm残して切取ります。
- ②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
- ④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く 押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。(B図)

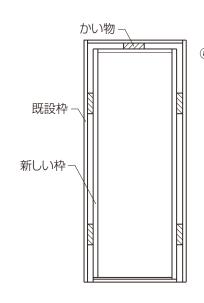






■新しい枠の取付け

①新しい枠の水平・垂直を正しく出します。 (調整が必要な場合は、かい物をご使用く ださい。)



⑥なベタッピンねじφ4×75(1種)−

新しい枠(縦枠)

●縦枠側

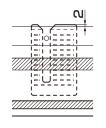
⑤プッシュボタン -

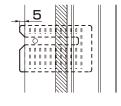
②なべタッピンねじゆ4×75(1種)

⑤プッシュボタン

▲注 意

●躯体に取付ける際は、製品の 強度確保のため、ねじかかり 寸法は必ず20mm以上にして ください。ドア本体・枠の 脱落の原因になります。 ※室内側へのスペーサーはみ出しは上枠側 2mm、縦枠側5mm以内としてください。内額縁の取付け時に干渉するおそれがあります。





既設枠

※スペーサー

※スペーサー

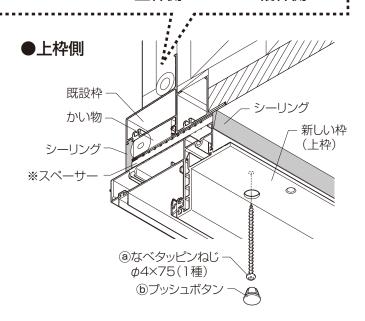
上枠側

縦枠側

- ②取付け位置決定後、新しい枠(上枠・縦枠) の取付け穴より、既設枠に ϕ 4.5、躯体 に ϕ 3 の下穴をあけます。
- ③吊元側縦枠の室内側躯体取付けねじから 順に指定のねじで取付けます。
- ④ ⑤ プッシュボタンをはめ込みます。
- ⑤既設枠と新しい枠の接合部(室外側/三方) にシーリング材を充てんします。

A注 意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、 指定の箇所にシーリング材を充てん してください。漏水の原因となります。

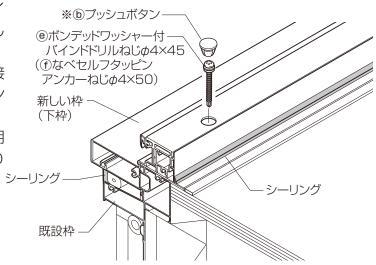


⑥下枠の取付け穴から既設下枠にφ3.5の下穴をあけて、®ボンデッドワッシャー付バインドドリルねじφ4×45で既設枠に固定します。

既設枠が3方枠の場合、または土間に直接設置する場合は、①なべセルフタッピンアンカーねじ ϕ 4×50で固定します。

※オプションの下枠ステンレスカバーを使用する場合、⑥プッシュボタンは不用となります。

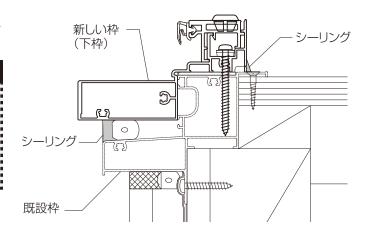
●下枠側



⑦既設枠と新しい下枠の接合面(室内側)に シーリング材を充てんします。

▲注 意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

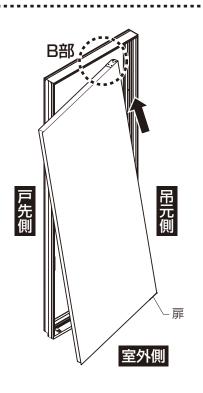


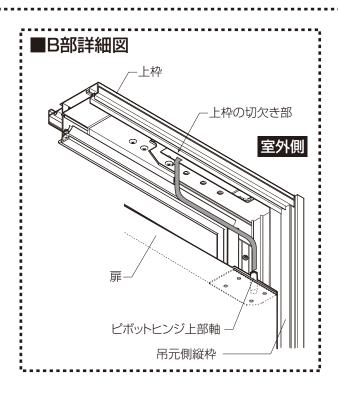
■ドア本体の吊込み

①扉を斜めに持上げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を上枠の切欠き部の端に差込みます。

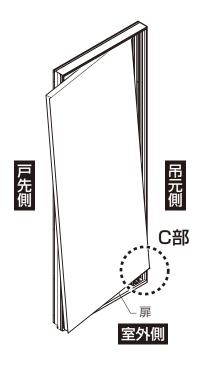
- お願い

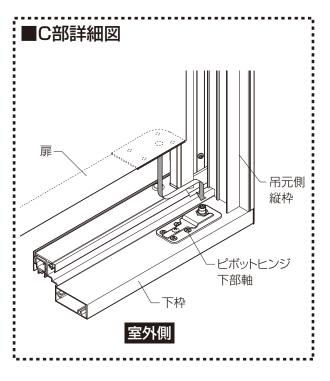
※はじめにピボットヒンジ上部軸を差込しんで下さい。下部軸を先に差込むと吊込みできません。



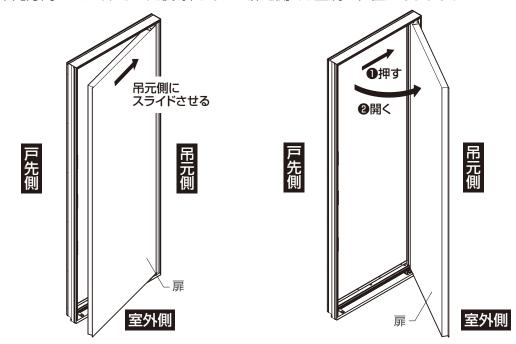


②①の状態で扉をピボットヒンジ下部軸に差込みます。

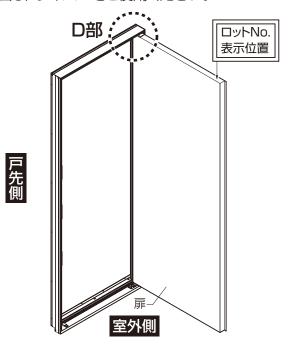


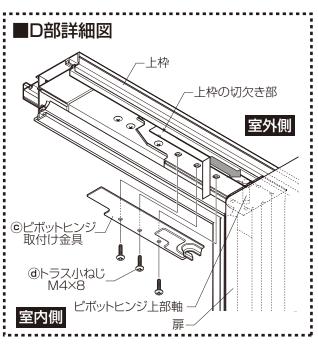


③扉の上部を吊元方向にスライドさせた後、押しながら扉を開くと正規の位置になります。

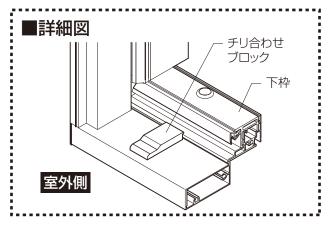


④©ピボットヒンジ取付け金具を、扉のピボットヒンジ上部軸に差込み、⑥トラス小ねじM4×8で固定します。 ※必ず手回しドライバーをご使用ください。





⑤下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。



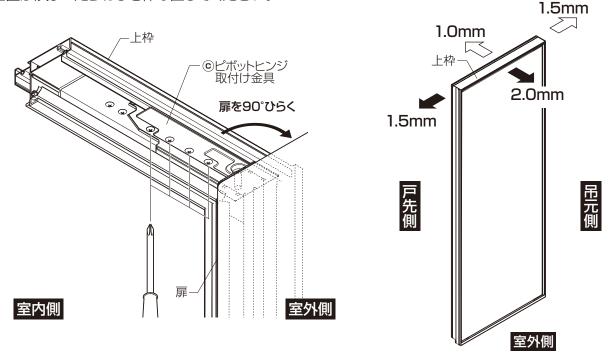
・お願い -----

※取付け完了後は必ずチリ合わせブロックを取外 してください。(ドアの開閉に支障がでます。)

■建付け調整

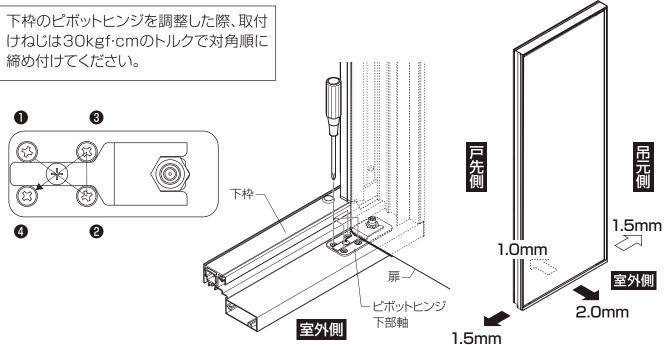
■前後左右方向の本体の調整

- ①扉を90°開きます。
- ② ② ② ピボットヒンジ取付け金具のねじ4本をゆるめます。
- ③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。



- ④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
- ⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
- ※必ず手回しドライバーをご使用ください。

建付け調整時の注意事項

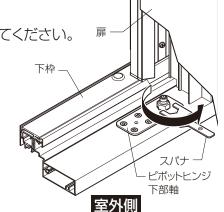


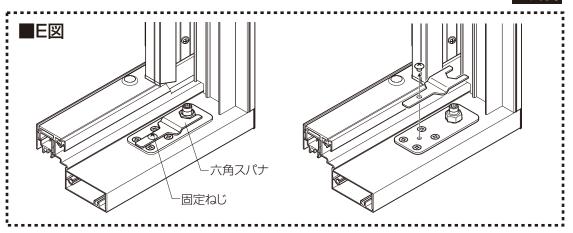
■上下方向の本体の調整

- ●ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。
- ※右に90°回すことで約0.7mm上げる事ができます。
- ※六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(E図)
- ●調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに取付けてください。

お願い ------

※3mmを超えて上げないでください。 また、スパナは必ず元のとおりに取付けてく ださい。ナットが回転して開閉不良など不具 合が生じるおそれがあります。

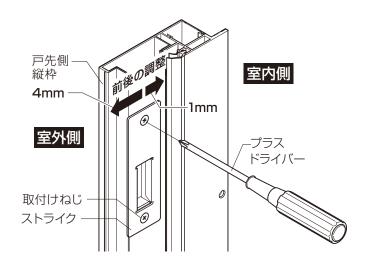




■ストライク調整

ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。

- ①ストライクの取付けねじ2本をゆるめます。
- ②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。



■本体の戸先下がりが起きた場合の調整

①ピボットヒンジ下部軸にて上下方向の調整を行なってください。

【①にて解決しない場合】

②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、 吊元側方向に本体をずらしてください。 (※右図参照)

【①②にて解決しない場合】

③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、 本体を戸先側方向にずらしてください。 (※右図参照) ②上部ピボットヒンジ取付け金具 のねじ4本をゆるめ、吊元側 方向に本体をずらします。

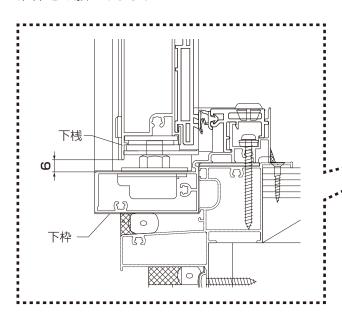


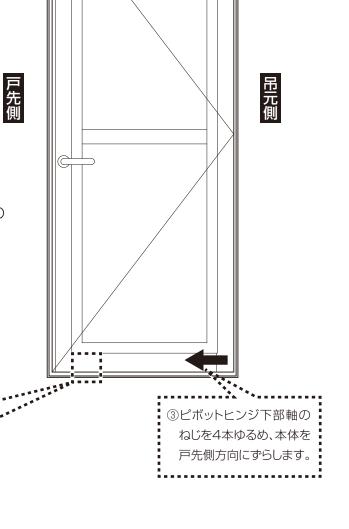
■本体戸先下がりをチェック

本体下桟と下枠のすき間寸法を採寸してください。

·目安寸法 6mm

上記寸法が確保できていない場合は調整を行い、寸法の確保をお願いします。





■内額縁の取付け

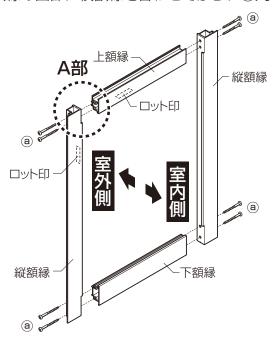
- ※必ず指定の組立て・取付けねじを使用してください。
- ※ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- ※樹脂は割れたりキズがついたりしやすいため、ぶつけたり、 こすったりしないでください。
- ※樹脂が割れたり変形するおそれがありますので、組立てねじは $1.0 \sim 1.5$ N·m $\{10 \sim 15$ kgf·cm $\}$ のトルクで止めてください。

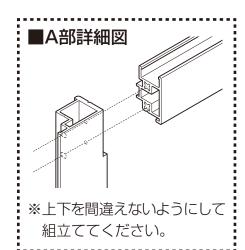
■使用ねじ一覧

а	(b)
組立て用	取付け用
6 Catalana	(B) manual
丸木ねじ	皿タッピンねじ

■内額縁の組立て

縦額縁の凹部に横額縁を合わせてから、@丸木ねじで枠を組立ててください。(A部詳細図参照)



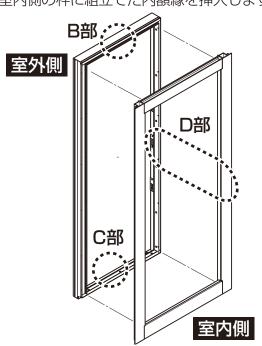


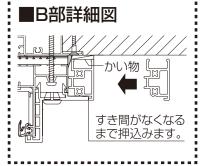
- お願い-

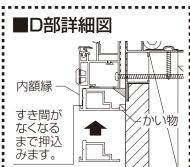
※組立てねじは1.0~1.5N·m{10~15kgf·cm} のトルクで止めてください。樹脂が割れたり変形するおそれがあります。

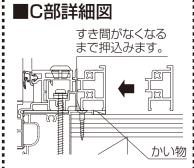
2枠への取付け

室内側の枠に組立てた内額縁を挿入します。

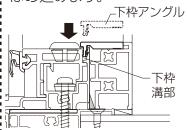








下枠アングルを下枠溝部にはめ込みます。 - 下枠アングル

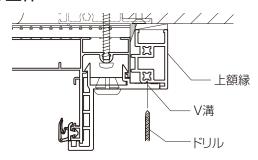


※内額縁がガタつく場合は、内額縁と柱の間にかい物を入れて調整してください。

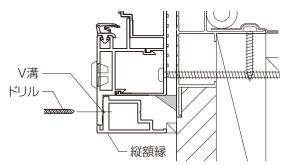
3 内額縁の固定

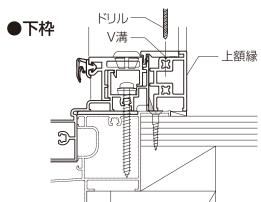
①内額縁を枠にすき間なく押し当て、アングルの皿穴加工部から、内額縁のV溝に ϕ 1.5~2のドリルで下穴を開けます。

●上枠





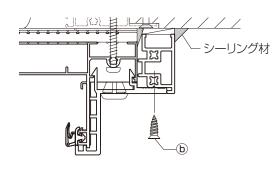


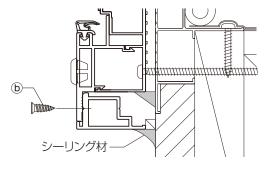


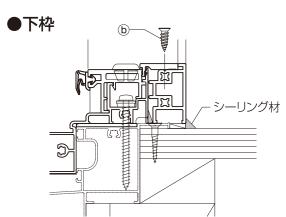
- ②⑤皿タッピンねじで固定してください。
- ※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ※アングルねじの締めすぎに注意してください。 形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。
- ③シーリング材で内額縁と既設枠のすき間を隠します。

●上枠









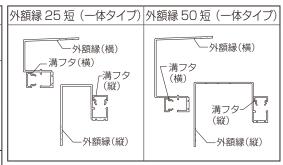
■外額縁 25・50短(一体タイプ)の取付け

- ※外額縁は、25·50短(一体タイプ)、25·50·75長(分割タイプ)の5種類があります。現場 の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。
- ※取付けの図はすべて外額縁 25 短(一体タイプ)で説明しています。
- ※外額縁は、本体を吊り込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ・部品一覧

a	(b)	©
外額縁取付け用	外額縁下部キャップ 取付け用	外額縁上部キャップ (外額縁 25 用)
でだが ななべドリルねじ	トラスタッピンねじ φ 4×10 (1種)	
d	e	(f)
外額縁下部キャップ (外額縁 25 用)	外額縁上部キャップ (外額縁 50 用)	外額縁下部キャップ (外額縁 50 用)

■部材一覧表



※現場納まりによって外額縁下部キャップ は使用しない場合があります。

■切詰め加工

①外額縁(横)、溝フタ(横)の切断寸法は、 下表の切断寸法計算式より算出して切詰め てください。

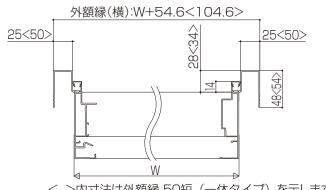
■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁 25・50 短 (一体タイプ) 横	W + 20
溝フタ(横)	W + 20

※外額縁(縦)、溝フタ(縦)は、現場の納 まりに合わせて切詰めてください。

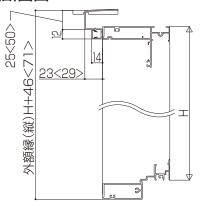
$5\sim15$ mm $5\sim15$ mm 外額縁(縦) 外額縁(横)

●横断面図



< >内寸法は外額縁 50短(一体タイプ)を示します。

●縦断面図



< >内寸法は外額縁50短(一体タイプ)を示します。

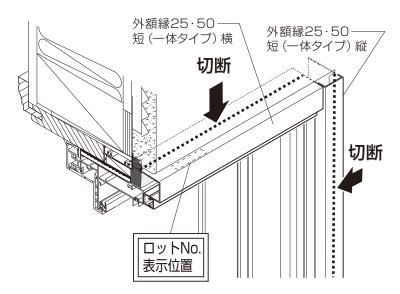
【切断方法1】…カッター・ペンチを使用する場合

●外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の 溝にカッター(プラスチックカッターなど)で部 材全長に溝を切込みます。この時アルミ形材の厚 みを6割以上切込んでください。



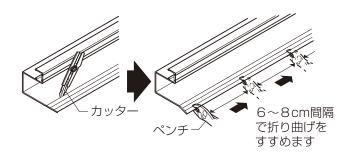


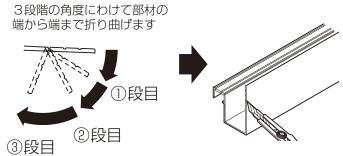
- ●ペンチ(モンキーレンチなど)で下図のように3段階の角度にわけて折り曲げます。
 - ①段目の角度まで部材の端から端まで 折り曲げます。同じように②段目の角 度まで部材の端から端まで折り曲げて から、③段目まで折り曲げて切離します。



- お願い

- ※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみが発生するおそれがあります。 折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。
- ※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。アルミ表面が焼けるおそれがあります。





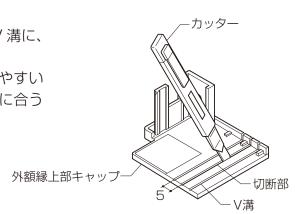
【切断方法2】…丸ノコを使用する場合

納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

2 外額縁キャップの切断

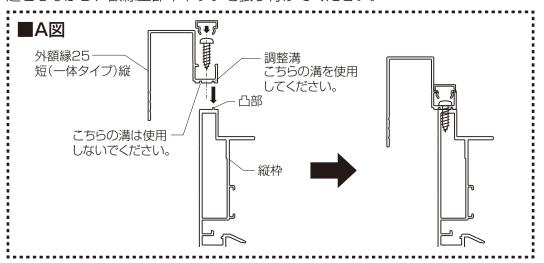
納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくる V 溝に、 カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

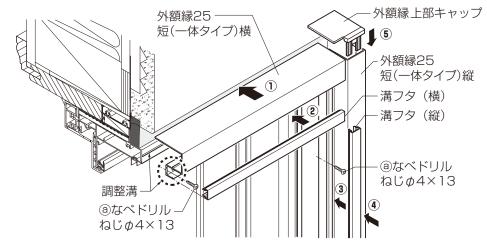
※外額縁上部・下部キャップには、カッターで切りやすいように 5mm 間隔で V 溝が入っています。納まりに合うようにカットしてください。



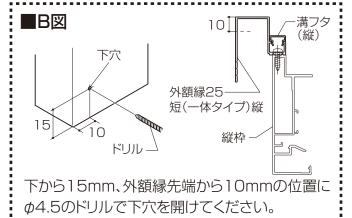
3 外額縁の取付け

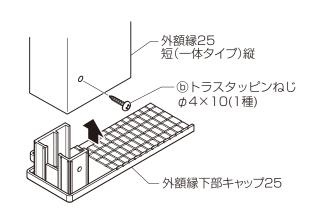
- ①外額縁(横)の調整溝に枠の凸部を差込み、@なべドリルねじø4×13で枠に取付けます。
- ②溝フタ(横)を外額縁(横)に取付けます。
- ※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
- ③外額縁(縦)の調整溝に枠の凸部を差込み、 $(A \boxtimes B)$ の間整溝に枠の凸部を差込み、 $(A \boxtimes B)$ の間整溝に枠の凸部を差込み、 $(A \boxtimes B)$
- ④溝フタ(縦)を外額縁(縦)に取付けます。
- ※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
- ⑤裏面の両面テープをはがして、外額縁上部キャップを外額縁(縦)の上部に取付けてください。
- ※外額縁(縦)と外額縁(横)の間にすき間がある場合は、位置を調整し、外額縁(横)を室外側に 起こしながら、額縁上部キャップを張り付けてください。





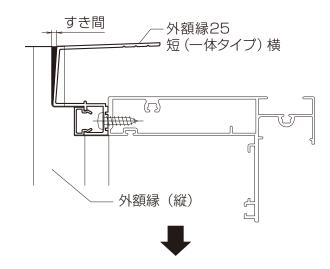
⑥外額縁(縦)の外側面の下部に ϕ 4.5 のドリルで下穴を開けます。(B 図) 外額縁下部キャップを Φ 0トラスタッピンねじ Φ 4 × 10(1 種) で取付けます。



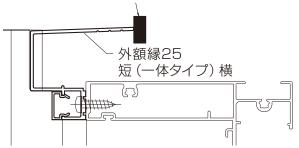


■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁(縦)の加工部にすき間があくことがあります。 すき間発生時は、外額縁(横)の後ろにかい物を入れて外額縁(横)をおこしてください。 ※外周部のシーリング処理前に実施してください。



すき間が発生した場合は、かい物を入れる



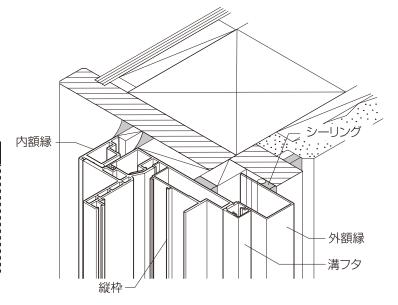
■外周部のシーリング処理

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充 てんします。

※外額縁下部については、全面シーリングを せずに、両端部から水が抜けるようすき間 を確保してください。

↑注 意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。



■外額縁 25・50・75 長(分割タイプ)の取付け

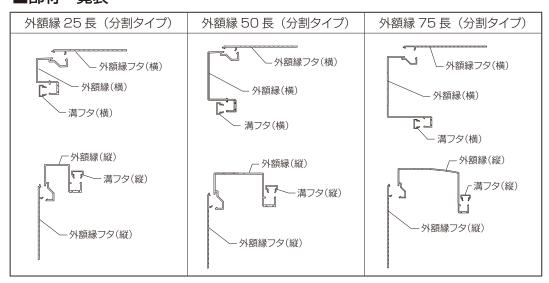
- ※外額縁は 25·50 短 (一体タイプ)、25·50·75 長 (分割タイプ) の 5 種類があります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。
- ※取付けの図はすべて外額縁 75 長(分割タイプ) で説明しています。
- ※外額縁は本体を吊込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ・部品一覧

a	(b)	©	d
外額縁取付け用	外額縁下部キャップ 取付け用	外額縁上部キャップ (外額縁 25 用)	外額縁下部キャップ (外額縁 25 用)
なべドリルねじ	トラスタッピンねじ φ 4×10 (1種)		
e	(f)	Ø	h
外額縁上部キャップ (外額縁 50 用)	外額縁下部キャップ (外額縁 50 用)	外額縁上部キャップ (外額縁 75 用)	外額縁下部キャップ (外額縁 75 用)

※現場納まりによって外額縁下部キャップは使用しない場合があります。

■部材一覧表



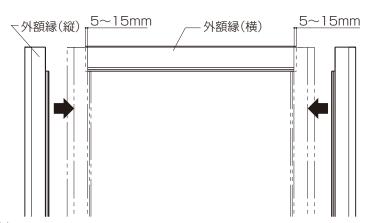
■切詰め加工

①外額縁(横)、溝フタ(横)、外額縁フタ(横) の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より 算出して切詰めてください。

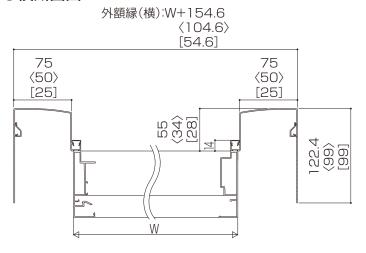
■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁 25.50.75 長 (分割タイプ) 横	W + 20
溝フタ	W+20
外額縁フタ	W + 20

※外額縁(縦)、溝フタ(縦)、外額縁フタ(縦)は、 現場の納まりに合わせて切詰めてください。

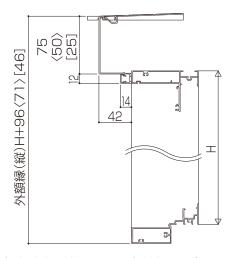


●横断面図



- 〈 〉内寸法は外額縁50長(分割タイプ)を示します。
- [] 内寸法は外額縁25長(分割タイプ)を示します。

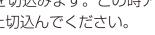
●縦断面図



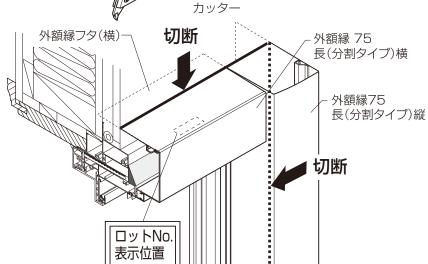
- 〈 〉内寸法は外額縁50長(分割タイプ)を示します。
- []内寸法は外額縁25長(分割タイプ)を示します。
- ②外壁の納まりに合わせて、外額縁を必要に応じて切断します。
- ※外額縁フタを外額縁にかん合させた状態で納まりを確認してください。

【切断方法1】…カッター・ペンチを使用する場合

●外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の 溝にカッター(プラスチックカッターなど)で部 材全長に溝を切込みます。この時アルミ形材の厚 みを6割以上切込んでください。



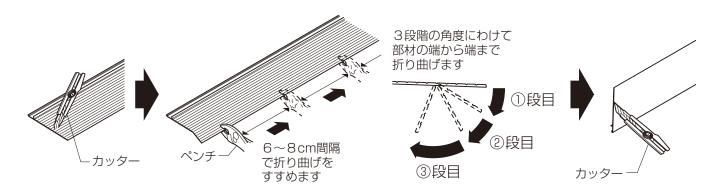
- ●ペンチ(モンキーレンチなど)で下 図のように3段階の角度にわけて折 り曲げます。
 - ①段目の角度まで部材の端から端ま で折り曲げます。 同じように②段 目の角度まで部材の端から端まで折 り曲げてから、③段目まで折り曲げ て切離します。



プラスチック

-- お願い--

- ※無理に折り曲げたり、部分的に1度で折り曲げないでください。ひずみが発生するおそれがあります。 折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。
- ※サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。アルミ表面が焼けるおそれがあります。

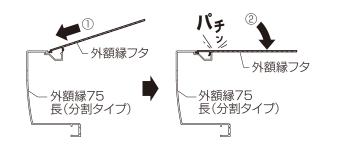


【切断方法2】…丸ノコを使用する場合

納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

2 外額縁と外額縁フタのかん合

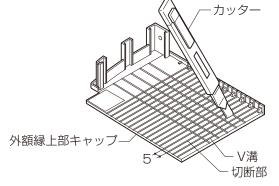
- ①外額縁フタの先端を外額縁の溝に突き当てます。
- ②外額縁フタのツメが、外額縁にパチンとかん合 するまで押し下げます。
- ※かん合は、切断後に端部から行ってください。



3 外額縁キャップの切断

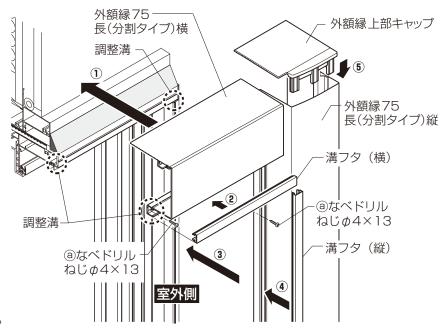
納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくる V 溝に、 カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

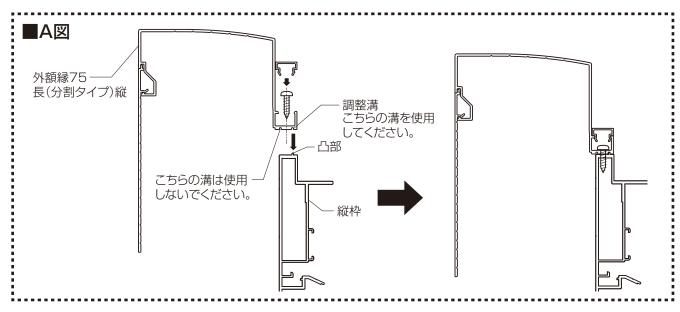
※外額縁上部・下部キャップには、カッターで切りやすいように 5mm 間隔で V 溝が入っています。納まりに合うようにカットしてください。



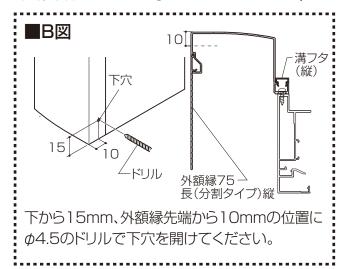
4 外額縁の取付け

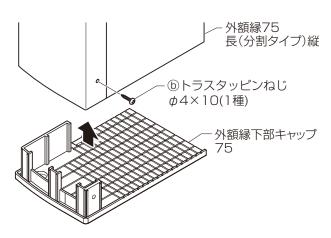
- ①外額縁(横)を調整溝に差込み、 ②なベドリルねじ ϕ 4 × 13 で 枠に取付けます。
- ②溝フタ(横)を外額縁(横)に取付けます。
- ※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
- ③外額縁(縦)を調整溝に差込み、④なベドリルねじφ4×13で枠に取付けます。(A図)
- ④溝フタ(縦)を外額縁(縦)に 取付けます。
- ※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
- ⑤裏面の両面テープをはがして、 外額縁上部キャップを外額縁 (縦)の上部に取付けてください。
- ※外額縁(縦)と外額縁(横)の間にすき間がある場合は、位置を調整し、外額縁(横)を室外側に起こしながら、外額縁キャップを張り付けてください。





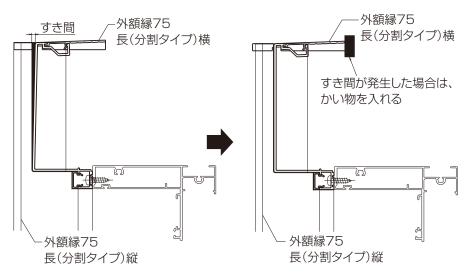
⑥外額縁(縦)の外側面の下部に ϕ 4.5 のドリルで下穴を開けます。(B 図) 額縁下部キャップを Φ 0トラスタッピンねじ ϕ 4 × 10 (1 種)で取付けます。





■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁(縦)の加工部にすき間があくことがあります。 すき間発生時は、外額縁(横)の後ろにかい物を入れて外額縁(横)をおこしてください。



※外周部のシーリング処理前に実施してください。

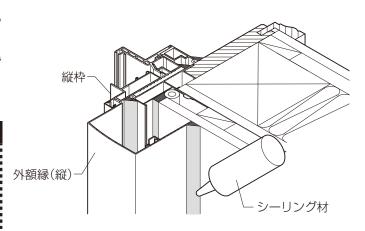
■外周部のシーリング処理

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てん します。

※外額縁下部については、全面シーリングをせず に、両端部から水が抜けるようすき間を確保し てください。

A注 意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、 指定の箇所にシーリング材を充てんし てください。漏水の原因となります。



製品を正しく取付けいただくための

リシェント勝手ロドア断熱仕様 取付けチェックポイント集

- 1. 現場チェック項目一覧
- 2. 現場調査前確認事項
- 3. 現場調査時確認事項
- 4. 取付け現場採寸時の確認事項

1. 現場チェック項目一覧

■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

	チェック項目	チェック
事前に電話など で確認する項目	取付ける建物の構造は木造ですか?	はい・いいえ
現場にて	取付ける柱への枠の取付けねじのかかり寸法は 20mm 以上ですか?	はい・いいえ
確認する項目	取付ける柱が腐っていませんか?	はい・いいえ
	既設枠開口周り(外壁など)に漏水のあとはありませんか?	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクは、1.2N·m(12kgf·cm)以上ですか?	はい・いいえ
	周辺環境(軒天、入隅納まり)において、製品取付けに支障はありませんか?	はい・いいえ

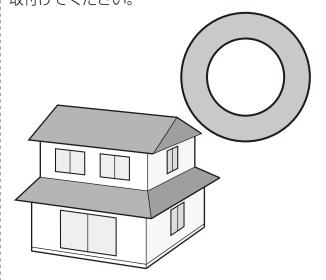
2. 現場調査前確認事項

リシェント勝手口ドアは木造専用です。

※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

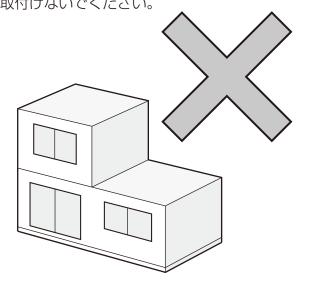
■取付け可

在来木軸工法、204 構造など木造納まりに取付けてください。



■取付け不可

鉄骨造、RC 造、ALC 納まりなどには 取付けないでください。

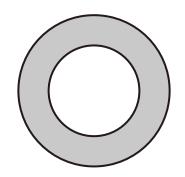


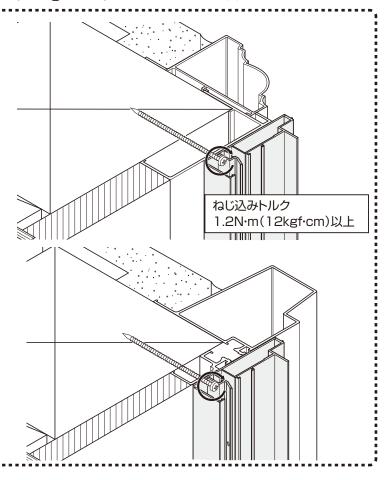
3-1. 現場調査時確認事項

躯体取付けねじのねじ込みトルクが 1.2N·m (12kgf·cm) 以上あることを確認してください。

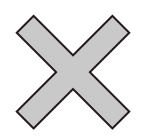
■取付け可 内付枠

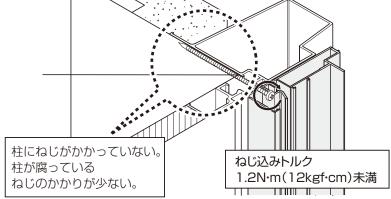
指定のねじ(なべタッピンねじ ϕ 4 × 75) が上記の柱位置で 1.2N·m (12kgf·cm) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。





■取付け不可 半外付枠

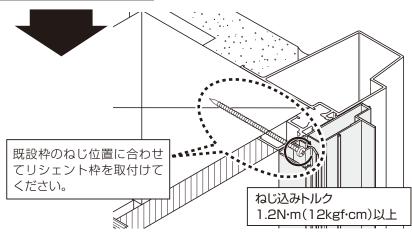




■取付け可 半外付枠

既設枠のリブを取除き、指定のねじ (なベタッピンねじφ4×75)が柱に かかっていることを確認してください。

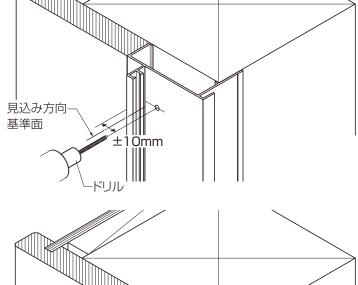


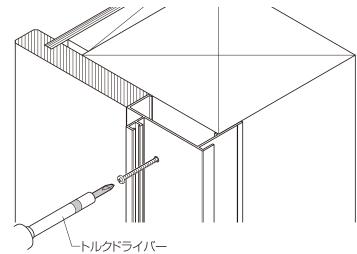


[ねじ込みトルクの確認方法]

①新しい枠を取付ける際の既設枠の 見込み方向基準面付近 ± 10 mmの 位置に ϕ 5 の穴をあけます。

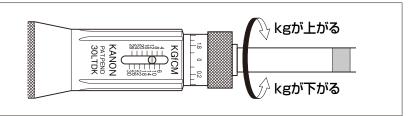
- ②新しい枠の取付けねじ(なベタッピン ϕ 4 × 75 (1種))を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、1.2N・m(12kgf・cm)以上であることを確認してください。
- ※確認後の穴はシーリング処理にて 穴をふさいでください。

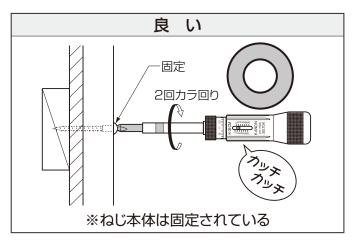


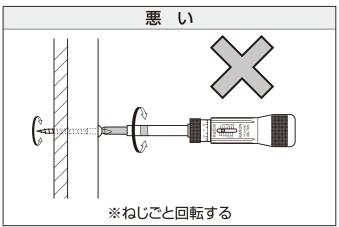


■トルクドライバー目盛合わせ

●トルクドライバー目盛り合せ設定1.2N・m (12kgf・cm)

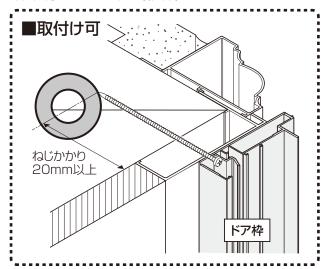


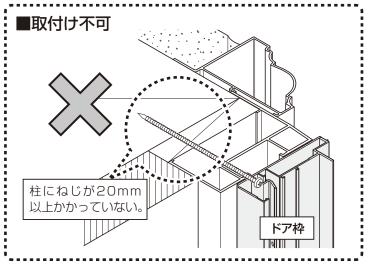




3-2. 現場調査時確認事項

枠取付けねじは柱(躯体)に 20mm 以上かかることを確認してください。

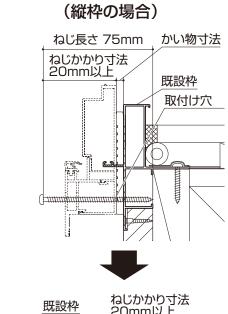


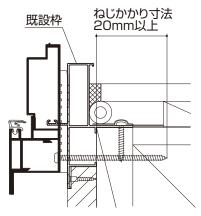


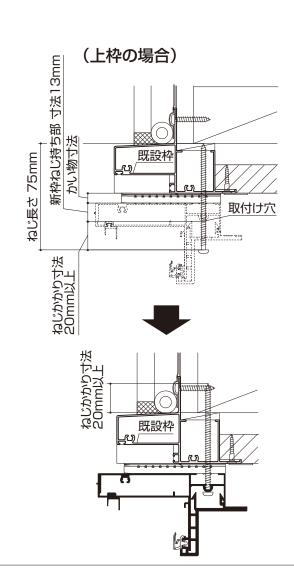
〔ねじかかり寸法の確認方法〕

ねじ込みトルクの確認時にあけた既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが 20mm 以上であることを確認してください。

※ねじ長さ 75mm







株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月~金 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. 00 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月~金 9:00~18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. 00 0120-413-433 FAX. 00 0120-413-436

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからで確認ください。

取説番号 MAM-739A 事業所コード AXU6 2023.3.31発行